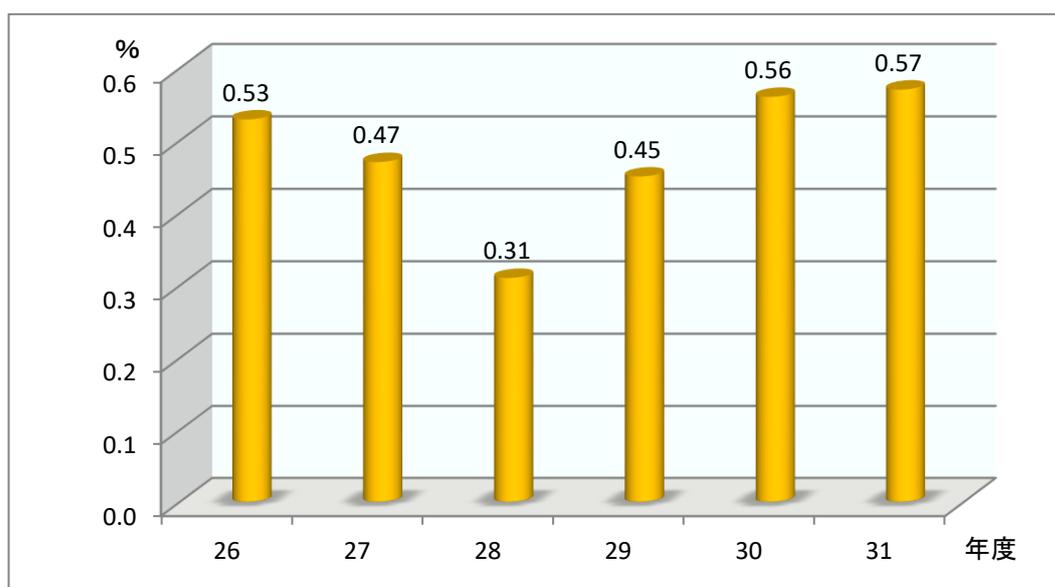


22 褥瘡発生率

解説

褥瘡(床ずれ)は患者の生活に大きな悪影響を与え、入院の長期化にもつながりますが、適切な診療により予防しえるものでもあります。褥瘡の治療はしばしば困難であり、発症予防がより重要となります。知識の蓄積、予防の計画、予防の実施にかかる総合力を評価します。

実績



自己点検評価

褥瘡対策に関わる診療計画は適切に行われている。褥瘡の深さはNPUAP分類Ⅰ～Ⅱ度の浅い褥瘡は前年の90%からやや下がり85%程度であった。DTIからⅢ度以上の難治褥瘡となった事例もあり、早期発見、早期治療を目指し予防対策の強化に努めている。

定義

対象年度1年間での褥瘡発生率(入院してから新しく褥瘡を作った患者比率)(%)。

算式

分子:分母のうち、褥瘡の院内新規発生患者数。
分母:入院患者数。